

# 資料 1

## 「(仮称)川崎市集中改革プラン」(素案)に対する市民意見募集の結果について

| 意見番号 | 意見要旨   | 市の考え方  |
|------|--|--|
| 1    | スケートボードやインラインスケート、BMX をやる場所がないので、スケートパークを建設して欲しい。  | 本市では、現在のところスケートパークを建設する計画はありませんが、ご意見は今後の参考にさせていただきます。  |
| 2    | 地下鉄利用者の予想推移は信用できない数字で、将来市民が赤字を背負うはめになる。<br>特別養護老人ホームの建設などの高齢化社会への対応や、安心して子育てができる施設の拡充、団塊の世代が培った技能を引き継ぐシステムの構築など、地下鉄以外に早急にやらなければならないことが沢山ある。<br>地下鉄工事を中止すべきである。 | 地下鉄事業に限らず、事業の実施にあたっては、費用対効果や優先度を考慮し、限られた財源や資源を最大限活用しながら、将来の財政負担に配慮し、効率的・効果的に市民サービスを提供できるよう進めてまいります。  |
| 3    | 川崎市と横浜市の鉄道や道路の整備状況などをみると、横浜市との合併による鉄道・道路・バス網の見直しや広域行政による横浜市設備への相乗りをめざしていくべき。<br>ベッドタウン的な色彩が強くなっている現況を考えれば、川崎市としての単独行政を見直す時期にきている。                              | 本市は、首都圏の中心部に位置し、東京と横浜という巨大消費地に接し、交通アクセスにも優れております。このことを踏まえ、まちづくりを効率的・効果的に進めるために、広域的視点により、各拠点の魅力の創出による「広域調和・地域連携型」都市構造の構築に向けた取組を進めております。<br>こうした中で、これまでも、近隣自治体との連携や協調した取組を行っており、今後も川崎市としての自立性を保ちながら広域的・総合的な視点から施策を展開してまいります。 |